

# Japanese man In NY (ニューヨーク生活)



1.89 L

Cranberry Juice

## 《 American Blood 》

今回はニューヨーク生活で得た血の話。両親の生まれは東京と川崎、父方の祖父母は群馬、母方の祖父は栃木出身であることは聞いていた。母方の祖母、日本舞踊の師匠をしていたおばあちゃんは、てっきり東京の生まれだと思っていたが、つい最近、北海道の江差出身であることが判明した。この歳になって、横浜で生まれ育った自分に北海道の血が流れていたことが分かり、感慨深く感じた。

血と言えばと思い出したことがある。北海道の血以外に、アメリカの血も混じっていることだ。本誌 Vol. 4 & 5 のこのコーナーでお伝えした「ぶらりマンハッタン救急車の旅 Part-1 & Part-2」で触れさせてもらったが、生まれて

からたった一度だけ、救急車に乗せられたことがある。詳細は省かせてもらうが、ニューヨークで自然気胸を発症し、その時に初救急車を体験し、2回目に発症した際にコロンビア大学系列の病院に入院させられて手術を受けた。手術後、麻酔から目が覚めて、看護師から手術の説明を受けた際、術中の写真を見せられ、輸血も行われたと告げられた。手術は約4時間ほど掛かったそうだが、当時の時代背景もあって、エイズの検査も大丈夫だったと言われた。

今思うと、ニューヨークの病院での輸血だったため、勝手にアメリカの血と思い込んでいるが、実際にはどこの誰の血だったのか分かりようもない…。当時のニューヨークの街はまだ危険な香りが残っている時代だったので、怪しい人の血だったり、アメリカの血でない可能性も考えられる。いずれにしても、今も五体満足、無事に生きているので、アメリカの血が流れているということで納得したい。

また一つ、アメリカの血以外に気になっていたことがある。約4時間の手術後に目覚めた時のことだ。ベットで仰向けに目を開けた瞬間、左手に巨大なクランベリージュースを抱えさせられていて、下半身が寒いことに気が付いた。クランベリージュースを見て、何なのこれ？と思ったと同時に、パンツを履いていないことに気付いて寒気がし、ベットの脇に立っていた黒人の中年女性の看護師が上から見下ろしてニヤッと微笑んでいる姿が目に入った。自分の第一声は「Where is my underwear? (僕のパンツどこ?)」だったのを覚えている。あのニヤケ顔は何だったのか今となっては知る由もないが、思い出すと下半身に寒気を覚える。何はともあれ、こうしてアメリカの血を得た。

尚、冒頭で触れた日本舞踊の師匠をしていたおばあちゃんは、自分が小学校低学年の頃に天国に旅立ったが、身長は150cmもなく小柄ながら、自分の母親を含めて12人の子供を産んだ。家事は苦手でもほとんどやらず、孫たちが遊びに来るとそそくさと稽古場に逃げていたらしい。いつも和服姿で、当時住んでいた大井町線の北千束駅から乗り降りする電車内では、草履を座席の下に揃えて、正座で座っていたそうで、沿線界隈では有名だったらしい。10人くらいのお弟子さんを抱え、生涯踊りに人生を捧げたある意味自由人だった。とかく自由に生きがちな自分は、American Blood 以上に Dosanko Blood が強いようで、どうやら北海道出身のおばあちゃんに似てしまったらしい。

# Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

## Lili'uokalani Park and Gardens

### リリウオカラニ公園

今回はハワイ島の都市ヒロのダウンタウン南西の海沿いに佇むハワイで最大級の日本庭園＝リリウオカラニ公園。1917年にヒロの日系移民を記念する公共庭園として開園され、広さは30エーカー(120,000㎡)ある。庭園の中央にはワイホヌ池という大きな池があり、赤い太鼓橋が掛かっている。その他、庭園には鳥居、燈籠、黒松に裏千家15代目家元が寄贈した茶室松浪庵もある。現在はハワイ郡によって保護されており、周辺住民の憩いの場、日本の風情が感じられる癒しのスポットでもある。

## 《 ハワイな一枚 》



Kalapana 50th anniversary · Timeless Voyage

Kalapana

ポニーキャニオン [PCCY-01999]

2025年7月23日にリリースされたハワイで結成された元祖サーフ・ロックバンド＝Kalapana(カラパナ)のデビュー50周年記念ベスト盤。全16曲収録。